



「スリランカの伝統的水資源施設の持続的管理の鍵を探る」 Key issues for sustainable management of traditional water resources systems in Sri Lanka

Nuwara wewa (BC. 1C and Ruwanweli Seya Dagoba)



Anuradhapura

Basawakkulama wewa (BC. 5C)



角 哲也 (Tetsuya SUMI)

京都大学防災研究所

Disaster Prevention Research Institute Kyoto University

平成29年10月31日(火), 京都大学 宇治キャンパス おうばくプラザ きはだホール



開催概要

開催趣旨

スリランカでは、2000年以上の歴史を有する伝統的な灌漑水利施設群(ため池)が存在し、個々の施設はもとより、連珠式と呼ばれる親子構造のため池ネットワークによる水資源管理システムに先進性があり、日本の代表的な古代水利施設であり大阪の狭山池にも影響を与えたとされる。

インフラの長寿命化が求められる中、これら伝統的な水利施設が今日まで受け継がれてきた歴史と、今日に通じる設計・管理上の鍵を明らかにする。

日時 平成29年10月31日(火) 10—17時

場所 京都大学 宇治キャンパス おうばくプラザ きはだホール



アジア・モンスーン地帯のため池

- ・水資源利用の効率性を高める
- ・洪水を貯留する(遊水池)
- ・動植物の棲む豊かな生態系をつくる
- ・水資源の利用・管理のルールが文化を育む
- ・地域社会を維持するシステム



狭山池/日本



義林池/韓国



安豊塘/中国



ジッサ・ウェア
/スリランカ



プログラム

・基調講演

小山田 宏一（奈良大学文学部文化財学科 教授）

「日韓のため池灌漑の始まりとその発展」

Thavakkumar Vallipuram (Irrigation Engineer, Irrigation Department of Sri Lanka)

「Water Resource of Sri Lanka」

Kirushnarupan Navrathinam (Irrigation Engineer, Irrigation Department of Sri Lanka)

「Water Resources Management and Present & Future Challenges Reference to

Malwathu Oya River Basin, Sri Lanka」

・事例講演

大川 裕子（日本女子大学 学術研究員）

「中国古代のため池灌漑－南陽・淮域における連珠式灌漑を中心に－」

高橋 靖次（大阪府 都市整備部 河川室課長補佐）

「狭山池、平成の大改修と今後の利活用の展望」

小田 哲也（兵庫県農政環境部農林水産局 農村環境室 ため池水利班班長）

「東播磨のため池管理」

パネルディスカッション



スリランカの水資源管理に対する問いかけ

1. スリランカの水資源の概要

気候, 地形, 水文, 河川システム

農業システム, 水システム成立の歴史と発展, 洪水と渇水の現状

2. 水管理の体制

ダム貯水池(タンク)を作った伝統的な水管理の主体(王国, 農民組織など)

3. ダム貯水池の管理体制の相違(持続的管理の観点から)

王国の場合と農民組織の場合の相違

4. 現在の水管理の課題

水質, 土砂堆積, 洪水管理など

5. 持続的管理の観点からの教訓

維持管理のための双子貯水池,

Bisou Kotuwa(かんがい放流のための自然調節バルブの発明)

6. 流域管理の考え方(次ページ)

土砂流入量の抑制, 管理など

7. タンクー灌漑水路システムと地域とのかかわり

灌漑水路の利用, 生態系サービス



Sustainable management of tanks in Sri Lanka

